

この度は Pyramix Virtual Studio を導入頂き、誠に有難うございます。

このラックは約 25kg の重量があります。

ラックマウントに際しては、**必ずサポート・アングルを使用し**、固定してください。

ピラミックス・コンピューターは仕様により、大きく 2 種類に分けられます。

1. Music Recording/Mastering モデル
2. Broadcast/Post Production モデル

これらの違いは NTSC モニター出力の有無ですが、同時にモニター・ディスプレイの接続方式が異なりますのでご注意下さい。

導入されたピラミックス・コンピューターの背面を御覧頂くと、コンピューターの中央部、PC スロットの一番左にグラフィック・ボードが装着されています。このグラフィック・ボードのコネクターの違いにより、それぞれのモデルを特定することができます。

Music Recording/Mastering モデルでは、モニター・ディスプレイ接続用に図 1 の様な D-Sub15 ピン(ミニ)・コネクターが装備されています。

上側がプライマリー・モニター用です。モニター・ディスプレイを一台のみ使用される場合は、上側のポートに接続します。

Broadcast/Post Production モデルでは、モニター・ディスプレイ接続用に図 2 の様な

DVI-D24 ピン・コネクターが装備されています。

下側がプライマリー・モニター用です。モニター・ディスプレイを一台のみ使用される場合は、上側のポートに接続します。



Broadcast/Post Production モデルでは、NTSC モニターにビデオを出力することができます。マルチ・モニターの接続及び設定、NTSC モニターとの接続は、付属のグラフィックボード・マニュアルを御覧下さい。

背面パネル左下の図 4 の部分にキーボードとマウスを接続します。

紫色のコネクターにキーボードを

緑色のコネクターにマウスを接続します。

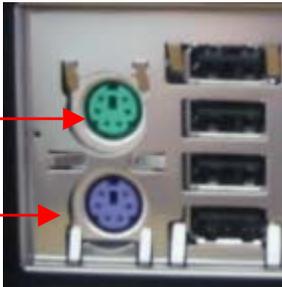


図 4

オーディオ用コネクターは、最も若い番号のチャンネルが PC カード上、以降がバックパネル上に配置されています。マルチボードの場合、以下の例を参照してください。

例) AES48ch 仕様のピラミックスに関する例です。1 枚の AES 入出力基板では、1 枚の DSP ボードで 24ch 分の入出力が行えます。従って各入出力は、図 5 のような配置となります。

- Ch 1-8 PC 基板#1 上 DB25 コネクター
- Ch 9-16 バックパネル DB25 コネクター#1
- Ch 17-24 バックパネル DB25 コネクター#2
- Ch 25-32 PC 基板#2 上 DB25 コネクター
- Ch 32-40 バックパネル DB25 コネクター#3
- Ch 41-48 バックパネル DB25 コネクター#4

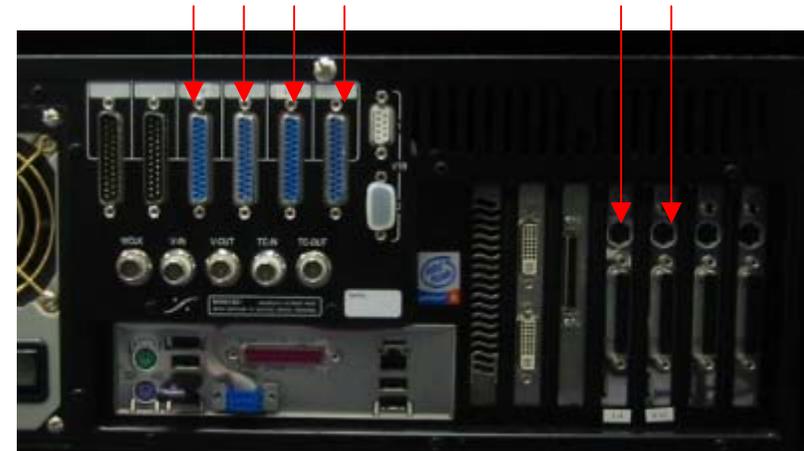


図 5

入出力コネクター位置が不明な場合は、お買い求めの販売代理店にお問い合わせください。